

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		川西市公共施設等あり方検討委員会(第5回)	
事務局(担当課)		公共施設マネジメント室	
開催日時		平成27年12月15日(火) 午後7時00分から9時25分	
開催場所		川西市役所4階 庁議室	
出席者	委員	小西委員(委員長)、森委員(副委員長)、後藤委員、水野委員、安枝委員、米田委員	
	その他		
	事務局	米田理事(公共施設マネジメント室所掌事務の総合調整)、井上公共施設マネジメント室長、阪上公共施設マネジメント室主幹、原公共施設マネジメント室主査、宮下公共施設マネジメント室主任	
傍聴の可否		可	傍聴者数 3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		(別添会議次第のとおり)	
会議結果		(別添審議経過のとおり)	

川西市公共施設等あり方検討委員会委員名簿

平成 27 年 12 月 15 日現在

(敬称略、50 音順)

	委員氏名	役職等	選出基準	備考
1	後藤 正順	川西市コミュニティ協議会連合会理事 緑台・陽明コミュニティ協議会長	市民	
2	小西 砂千夫	関西学院大学人間福祉学部教授	学識経験者	
3	水野 優子	武庫川女子大学生活環境学部講師	学識経験者	
4	森 裕之	立命館大学政策科学部教授	学識経験者	
5	安枝 英俊	兵庫県立大学環境人間学部准教授	学識経験者	
6	米田 大造	株式会社池田泉州銀行リレーション推進部 地域創生室主任調査役	事業者	

川西市公共施設等あり方検討委員会（第5回）会議次第

日時:平成27年12月15日(火)

午後7時00分～

場所:川西市役所4階 庁議室

1 開会

2 議事

(1) 前回の整理(課題・基本方針等の内容確認)について……………【資料1】

(2) 答申(案)について……………【資料2】

(3) その他

3 閉会

(配布資料)

【資料1】課題・基本方針・計画推進に向けた考え方等

【資料2】答申(案)

【その他】会議次第/委員名簿

審 議 経 過

委員長	<p>1 開会</p> <p>本日は委員 6 名全員が出席しているため、会議開催要件である過半数の出席を満たしており、本日の委員会は成立していることを報告する。</p> <p>本日の議事では、特に資料 1 の文言を固めることが主となる。資料 1 の文言が固まると、資料 2 の文言はそれに沿って固まっていく。資料 2 については骨組みと言うか、論点の組み立てについて整理をしたい。今日は主に資料 1 の文言を固めたいと思うので、意見があればできるだけ早く事務局に伝えてほしい。</p> <p>それでは事務局より資料の説明をお願いしたい。</p>
事務局	(事務局より配布資料の説明)
委員長	<p>2 議事</p> <p>(1) 前回の整理(課題・基本方針等の内容確認)について</p> <p>今日は資料 1 が一番大事なので、資料 1 の 1 枚目から 3 枚目まで丁寧に見ていきたいと思う。まず 1 枚目の右側のピンク色の部分『基本的な方向性』については、前回の委員会での意見を踏まえて、「1 参画と協働を踏まえた取組の推進」「2 公共施設の機能の最適化」「3 将来を見据えた施設整備と維持管理」という順番で構成しているが、この柱立てでいいか、もう一度議論したいと思う。</p>
事務局	<p>前回の委員会で、市民と関わりが深い公共施設の今後のあり方を議論するに当たっては、参画と協働の取組が重要だということだった。それを柱の先頭に持っていったらどうかというご意見を受けて事務局で整理したが、この委員会は公共施設を今後どうしていくのかということ議論する「公共施設等あり方検討委員会」であり、その趣旨からすれば、「2 公共施設の最適化」と「3 将来を見据えた施設整備と維持管理」が最初に来て、それらを進めるに当たっては「参画と協働」という手法を取り入れるといった体裁のほうがいいのか。つまり事務局としては、2 3 1 の順番の方がいいのではないかと思ったところである。</p>
委員長	<p>2 と 3 を実行する上での「進め方」が 1 であり、確かにコンテンツから言っても 2 3 1 の順だと思う。しかし、あえて参画と協働を前に出して、その大原則の下で 2 と 3 をしっかりやっていくという形も今どきかなとも思う。常識的に言うなら 2 3 1 の順で。委員会の答申なので、ここは拘りたいと言うなら 1 2 3 の順で。どっちもあると思うが、皆さんはどうか。</p>
A 委員	<p>3 つの柱の前に課題が(1)(2)(3)(4)とあり、(1)から(3)それぞれに対して(4)「市民等の参画」の矢印が飛んでいる。そのイメージから言うと、3 つの柱は 2 3 1 の順でもいいと思う。(4)を頭に持ってくると読み手が混乱してしまう気もする。見せ方だとは思いますが、課題(1)(2)(3)(4)の後に 3 つの柱が来るので、スムーズに読むという意味では、課題と柱の順番をどちらかに合わせた方がいいのではないか。いずれにしても、これまでの委員会でも言ってきたように「参画と協働を踏まえた</p>

<p>委員長</p>	<p>」という部分は大切にしてほしい。</p> <p>柱の順を1 2 3にするなら、課題(1) (2) (3) (4)の順は(4) (1) (2) (3)にしないとおかしいのではないかと、それも含めてオルタナティブではないかという意見である。特に強い意見が出なければ、柱の順を2 3 1に戻して課題の順は(1) (2) (3) (4)のままでいいのではないかと。委員会として拘ってみたい気もするが、課題(4)から入ると何の話か分かりづらくなるという指摘も頂いた。</p>
<p>B委員</p>	<p>難しいところであるが、委員会として拘ってきた部分であることには違いない。色々な自治体の公共施設マネジメントの基本計画や方針を見ていると、行政から見たマネジメントの性格が強い。3つの柱を2 3 1と並べると論理的にスッキリするのはそのとおりだが、見え方として行政目線の側面が強くなってしまう。せっかくこれだけ議論を積み上げてきたので、「行政による上からのマネジメントではなく、市民の参画と協働を大切にしたい」という川西らしい表現を丁寧に記述することが前提であれば、折衷案として1を後ろに持ってくることはありだと思いが。あるいは資料2の答申案の「はじめに」の部分でその思いを書くのも一つ。</p>
<p>委員長</p>	<p>さすがに2 3 1へひっくり返すというところまではいかない。</p>
<p>B委員</p>	<p>論理的にスッキリしないという事務局の思いは十分理解できるが、委員会として参画と協働を冒頭に持ってきた思いは先ほど説明したとおりである。1 2 3を2 3 1へひっくり返した時にその思いをどう詰め込むか。</p>
<p>C委員</p>	<p>基本的には冒頭に参画と協働が来たほうがいいと思うが、課題(4)「市民等の参画について」が1つ目に来ると、ハコモノの使い道が終わった時にどう活用していくかということに対して、地域住民で対話することしか見えてこない。本来公共施設の役割は、福祉や教育などのサービスを市民へ提供するということ。「ハコモノをどう活用するか」ということよりも、まずは「どういうサービスを市民が求めているか」というニーズを行政が的確に把握するために、市民・地域住民の参画が必要になる。その参画がキチンと得られると、サービス提供時の民間活用などの話も出てくる。もし、課題の順を(4) (1) (2) (3)へ変更するとしたら、単なる対話だけの記述ではなく「市民ニーズを的確に把握する」などの表現が入れば先頭でも意味が通る。課題(4)にある「丁寧な対話」程度の記述であれば、柱立てにおいても参画と協働の記述は最後でいいと思う。書くのであれば、なぜ市民等との丁寧な対話が必要なのかということまで踏み込んだほうがいい。踏み込み方としては「市民ニーズを的確に把握する」ことが第一義的になる。結論を言うと、柱立ては今のままで、参画と協働を冒頭に位置付けて答申したい。</p>
<p>委員長</p>	<p>1 2 3の順がいいといった意見である。</p>
<p>B委員</p>	<p>話を聞いていると、柱立ては1 2 3の順の方が意外性あっていいかもしれない。柱の先頭に「参画と協働」が来ると委員会としての思いが前面に出るのではな</p>

<p>委員長</p>	<p>いか。</p> <p>整理をすると、柱立てを1 2 3のままにいくとすると、課題(1) (2) (3) (4)の順を(4) (1) (2) (3)へ変え、さらに(4)の記述に「市民の参画がなければ市民ニーズを把握することはできない」などを追記して内容を充実させたらどうかということ。他に意見はあるか。</p>
<p>C委員</p>	<p>例えば、あるサービスを受けたいときに、サービス提供者に民間事業者が誰も名乗りを上げない場合に、居住者がグループを作ってサービスの提供者にもなるという仕掛けがこれから必要になってくると思う。市民・地域住民がサービスの担い手になる可能性を考えることは必要で、実際にそういった活動もある。単なる施設管理に居住者が参画するというレベルでなく、サービスの担い手に成り得るということを謳うなど、もっと踏み込んで記述すべきだと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>最近、ガソリンスタンドが農村からなくなって、自分たちで株式会社を作ってガソリンスタンドを運営しているところがある。意見のあった2つの要素を加えれば、課題(4)を先頭にもってきてもいいかもしれない。</p>
<p>C委員</p>	<p>所詮、順番は順番だと思っているので、2 3 1の順でもいい。参画と協働を柱の最後に置くとしても、今のような2点を課題(4)に入れほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>順番は順番だけど拘りたい部分もあるし、拘る以上内容が伴わなければいけない。事務局のほうで異論はないか。なければ柱は1 2 3の順のままとし、課題は(4) (1) (2) (3)に順番を変更する。また、課題(4)の内容については重要な点として2点発言いただいたので、事務局には各委員へ個別に相談するなどして整理をお願いしたい。</p>
<p>B委員</p>	<p>行政による上からのマネジメントではないということを強く打ち出そうとすれば、課題(4)の「公共施設は市民共有の財産である」という文言を冒頭へ持ってきたほうがいいのではないか。</p>
<p>委員長</p>	<p>文言を固める上で、前回からの修正点について、項目ごとに事務局から説明をお願いしたいと思っていた。今のご意見を機に、せっかくなので課題(4)から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>課題(4)「市民等の参画について」の修正点</p> <p>前は「市民や民間事業者との連携について」という見出しにしていたが、市民参画の重要性について多数ご意見を頂戴したことから、「(3)市民サービスの提供における民間活用について」と「(4)市民等の参画について」に見出しを2つに分割した。その上で(4)に新たに を追記している。また、 は前回からの記述であるが、参画と協働という広い概念で捉えていきたい思いもあり、「地域分権制度の考え方を踏まえ、…」という記述を「参画と協働のまちづくりの考え方を踏まえ、</p>

<p>委員長</p>	<p>そのさらなる浸透を図りつつ、…」へ修正している。</p>
<p>事務局</p>	<p>は新たに追記しているということなので、一度 から まで読みあげてほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>(課題(4) ~ を音読)</p> <p>「例えば学校の統廃合後における廃校舎の利活用については、…」という記述が冒頭にあると、「廃校舎の利活用は市が勝手に考えることはありません」ということが強調され過ぎている感じがするし、廃校舎の利活用を検討する時に限定して市民が参画していくというイメージを持たれないか。時間の関係もあり、本日の委員会では課題(4)の文言を確定できないが、今出ている注文3点を事務局に整理してもらい、メールでやり取りをして次回までに確定させたい。1つは「市民ニーズを把握するために参画が必要である」という点、それから「地域住民がサービスの供給者になり得る」という点。 の「公共施設は市民共有の財産」という記述を冒頭に持ってきたらどうかという点。</p> <p>続いて、課題(1)について前回からの変更点の説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>課題(1)「公共施設の機能について」の修正点</p> <p>前回の見出しは、「公共施設の機能(サービス)」としていたが、「機能とはどういう意味なのか最初に定義した上で、(サービス)を削除して機能だけにしたらどうか」というご意見を踏まえ、用語の定義欄を設け、その上で(サービス)を削除するということで統一した。</p> <p>あと、 の1行目「 ・人口減少を見据え」の次のセンテンスであるが、前回の「施設(ハコ)ありきが前提ではなく…」という記述を「施設を維持していくという従来の考え方に捉われず ・」へ修正している。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、委員の皆さんに課題(1)を黙読していただき、意見があれば発言をお願いしたい。</p> <p>(黙読後)意見がなければ次へ進むが、もし気づいた点があればいつでも戻っていただいて発言をお願いしたい。</p> <p>それでは課題(2)【施設の総量】について前回からの変更点の説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>課題(2)「公共施設等の更新と維持管理について」の修正点 【施設の総量について】</p> <p>まず、見出しであるが、前回の「公共施設等の管理について」という抽象的だった記述を「公共施設等の更新と維持管理について」へ修正した。中見出し【施設の総量について】は、 から の記述を含めて修正はしていない。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは黙読の後、発言をお願いしたい。</p> <p>(黙読後)意見がなければ、課題(2)【施設の維持管理と更新手法】について、前回からの変更点の説明をお願いしたい。</p>

事務局	<p>課題(2)「公共施設等の更新と維持管理について」の修正点 【施設の維持管理と更新手法について】</p> <p>中見出しであるが、【施設の性能について】という記述を【施設の維持管理と更新手法について】へ修正している。「性能」という文言が市民向けに分かりにくいのではないかという印象あったので、 が主に維持管理について、 が更新手法について記述していることを受け、それらをストレートに中見出しに反映した。</p>
委員長	<p>それでは黙読をお願いしたい。 (黙読後)意見はないか。</p>
C委員	<p>で「施設のハード構造と中身」とあるが、「中身」が言葉の表現としてよくない。「ハード構造」を「構造躯体」、「中身」を「内装や間仕切り」に。スケルトンインフィル方式について、国土交通省の指針や定義にも「構造躯体」「内装・間仕切り」という表現になっていると思うので、それに準じたらいい。</p>
B委員	<p>(1) では「 ・人口減少を見据え、 ・選択と集中により機能を見直し」、(2) では「 ・今後の人口動向や ・対象施設の取捨選択」と書いてあり、同じような表現になっている。(1) と(2) で示している内容に違いがあるのか。「施設の選択と集中=施設の取捨選択」と読めるが、(1)のほうが抽象的であるがゆえに強いトーンになっていないか。</p>
事務局	<p>(1)は機能について、(2)は総量について記述しているが、ご指摘のとおり結果的に同じような表現となっている。</p>
委員長	<p>(1) は「人口減少を見据え 機能を見直しつつ」の「人口減少を見据え」を削除して、「見直しつつ」を「見直すことを通じて」に修正してはどうか。</p>
事務局	<p>(1) のイメージは、次の基本方針に飛ぶが、中の機能を見直すことで、多機能化を図ったり、複合化を図ったりというイメージを持って記述している。一方で(2)は、公共施設全般において今後残していく施設もあれば廃止していく施設がある中で、色々な観点を持って、市としての政策的判断も踏まえた上で取捨選択していく必要があるという分け方をしている。</p>
委員長	<p>そういうことでいくと、先に申しあげた修正でどうか。事務局との間で齟齬がなければ、次の課題(3)について前回からの変更点の説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>課題(3)「市民サービスの提供における民間活用について」の修正点</p> <p>先ほど申しあげたように、前回の見出しは「市民や民間事業者との連携について」ということで、市民参画の部分と民間活用の部分が一緒になっていたのですが、(3)と(4)に分けた。(3)は市民サービスの提供における民間活用についてということで、前回とほぼ変わらない記述になっているが、前回「なぜ民間に任せるべきか理由が書か</p>

	<p>れていない」というご指摘があったため、 の1行目に「より充実したサービスの提供が低廉なコストで実現できる可能性がある」と理由を加えた。</p>
委員長	<p>ここは、例えば学校プールの民間活用の話があったかと思う。特に意見がなければ2頁へ進みたい。ここは非常に重要なところなので読み上げてほしい。</p>
事務局	<p>基本方針1「参画と協働を踏まえた取組の推進」の修正点 (「1 参画と協働を踏まえた取組の推進」の記述を音読)</p>
委員長	<p>重要なところなので、ニュアンスがどうかなど、気が付いたことを順不同で発言していただきたい。</p>
B委員	<p>「(2)多様な主体によるサービスの提供」の と の違いは何か。おそらく民間活用が想定されていると思うが、 にも にも入っている。分けている意味は何か。</p>
事務局	<p>は民間事業者と言いながら、どちらかという地域との関わりの中での指定管理者制度などのイメージを持っている。 はPFIに代表されるような民間との協力を想定しているが、ご指摘のとおり民間の記述が混在していて、分かりにくい感じになっている。</p>
委員長	<p>その整理でいくと、先ほど課題(4)のところで2点指摘のあった「市民との丁寧な対話をしなければニーズそのものが把握できない」という記述が(1)のどこかにあって良さそうだし、(2)には「市民グループが事業主体を新たに形成する可能性がある」という記述が必要だと思う。</p>
C委員	<p>そのとおりで、(2) はそう読むことができるが少し弱い。もう少しハッキリと。</p>
委員長	<p>先ほど事務局から指定管理を想定しているとの発言があったが、指定管理の意味だけでいくと表現が弱い。住民だけで方針・事業主体をつくって、そのエリアだけで出資して株式会社をつくるということは、中山間地だけではなく今後あり得る。</p>
B委員	<p>コミュニティビジネスみたいなイメージ。</p>
D委員	<p>(2) 「利用が一部の市民に限られている公共施設については、利用拡大に向けたPRを行うとともに…」とあるが、PRを行う必要があるのか。一部の市民しか利用していない施設について、PRすること自体を考える必要もある。</p>
委員長	<p>施設の存在を知らないために利用されていないということも考えられるが、そもそも、利用価値の低い施設がある場合に延命を図るようなことはどうなのかという意見である。</p>

事務局	<p>市民意識調査結果の中で、重要度が低いが満足度が高いという4象限の右下の領域があったと思うが、利用が一部の住民に偏っていると思われる施設をPRして、利用拡大につなげると重要度・価値観も上がってくる可能性があるのではないかとの思いで記載した。主にレクリエーション系施設や文化系施設が該当する。</p>
B委員	<p>(2) の「利用拡大に向けたPR」と「幅広い層の集客や利用促進」という記述は意味が重複しているように思う。前段の「利用拡大に向けたPRを行うとともに」という記述は削除したらどうか。</p>
委員長	<p>「利用拡大に向けたPRを行うとともに」は必要ないということだが。確かに、若干言葉が浮いている感じがする。</p>
B委員	<p>事務局の意図としては「利用拡大に向けたPR」は行政が行い、「幅広い層の集客や利用促進に向けた」は民間が行うという形で切り分けしているように読める。幅広い層の集客や利用促進を追求するに当たって、行政もその役割を担うとすれば「民間ノウハウの活用」の後に「等」を加えたらどうか。</p>
委員長	<p>「等」を付け足すことも含めてどういう表現にしたらいいか。見出しが「多様な主体によるサービスの提供」で、ここは主体の話なので「利用拡大に向けたPRを行うとともに」の記述はなくていいかもしれない。</p> <p>整理をすると、先ほどの課題(4)で2点書き加えることを受けて、基本方針1においてもどこかで追記すること、「利用拡大に向けたPRを行うとともに」を削除すること。</p> <p>それでは次へ進み、「公共施設の機能の最適化」の読み上げをお願いしたい。</p>
事務局	<p>基本方針2「公共施設の機能の最適化」 (「2 公共施設の機能の最適化」の記述を音読)</p>
委員長	<p>学校については丁寧に記述していて、少し具体的な感じがするが、これくらい書いといたほうがいいのかどうか。前回、小学校は意外と空いた教室を使っていて、遊休化部分がほとんどないという話もあった。意見はないか。</p>
D委員	<p>丁寧に書きすぎている感じを受ける。「これまで耐震化・大規模改修等の取組を進めており、中長期的な活用が期待できるとともに」の記述は不要で、強調するのは「学校施設は地域にとっての拠点・シンボル」でいいと思う。</p>
委員長	<p>先ほどのPRの部分と同じで、削除したらどうかというご意見である。確かに、実績を強調するあまり表現が冗長になっているので、削除して差し支えないと思う。</p> <p>それでは、次の「将来を見据えた施設整備と維持管理」の読み上げをお願いする。</p> <p>基本方針3「将来を見据えた施設整備と維持管理」</p>

事務局	(「3 将来を見据えた施設整備と維持管理」の記述を音読)
委員長	<p>1と2は丁寧に書いているのに3は全体的に強硬になっている感じがする。特に(1)の学校施設の記述については、子供が減るから統廃合を検討するのは当たり前のことなので、前段に「『 』といった方針で』統廃合に関する検討を進める」などの記述が必要ではないか。例えば「『教育サービス水準維持向上の観点から、』学校規模の適正化や校区の統廃合に関する検討を進める」ぐらいは書かないといけない。</p> <p>事務局からすると、この書きぶりであれば、どれくらい今後の公共施設の施設整備にブレーキがかかると考えているか。「書くことは書いたが、文言はあくまで文言なので実際はなかなか実行できない」と考えるのか、「あの時の委員会の答申でこれぐらい書いてもらって助かった」と後々思えるようになるのか。</p>
事務局	<p>一定の総量の縮減はやむを得ないと思っている。一律的な更新や単一機能の施設整備は抑制したいので、そこは記述してほしい。記述することによって抑制できる部分があると考えている。</p>
D委員	<p>意図するところは分からなくもないが、「将来を見据えた施設整備と維持管理」という見出しの後に「施設の総量縮減」が来ると、やっぱりそれが本音かという捉え方をする人がいるのではないか。</p>
委員長	<p>「総量をいかにコントロールしていくか」という観点で表現したらどうか。1つ1つの施設をどうしていくか財政課と協議をするのをやめて、トータルでどういう方向性で整備していくかという大きな方針を立てて網をかけるということが一番言いたい。人口減少を前提にすると総量の「縮減」や「抑制」と書けば分かりやすいが、網を掛けるという意味からすると「コントロール」。何か意見はないか。</p>
B委員	<p>国の資料などを見ていると、最適化とか適正化という表現を使ったりしている。そうすると、もう少し幅広いニュアンスが盛り込めると思う。</p>
委員長	<p>「施設総量の適正化」がいいかもしれない。それと の記述において「 総量縮減を視野に入れながら」の文言は「…総量適正化の観点から」へ修正する。</p>
C委員	<p>「(2)柔軟な建築手法」と「(3)適正な維持管理」を一緒にしてもいいかと思う。スケルトン方式は、建物の構造(スケルトン)と内装(インフィル)を分離して内装をどんどん更新していくことだと言われているが、本来は1970年代に日本の集合住宅ストックをどう造っていくかという時期に、公共住宅をベースに供給していくべきなのか、民間市場を活用して供給すべきなのか、公民の住宅供給における役割分担みたいな議論があり、公共が100年程度もつ建物の構造躯体を整備して、内装や間仕切りは居住者が自分のニーズに合ったものを民間主体で調達するということがベースになっている方式。結果的に居住者が入れ替わる時に内装を更新できるのでそのイメージが先行してしまっているが、本来は供給論がベースにあるので、ス</p>

	<p>ケルトン方式という言葉が安易に「中身を変えることができる」という意味合いで用いないほうがいいし、注意書きも不要。つまりスケルトン方式という言葉はなくてもいい。逆に 2000 年以降、様々な公共建築物のマネジメント計画又は設計が厳しく指導を受けているので、結果的にスケルトン方式を満たす物になっている。あえて新築の建物をスケルトン方式と言う必要がない。むしろ、最新の UR 賃貸住宅では、民間事業者が UR からスケルトンを丸々1棟分賃借して、中身を全部民間事業者が撤去して新しく内装を整備し、高齢者住宅として運営するといったように、公的な主体から賃借して民間事業者が中身を変えるとといった事例が増えている。「新しいものについてはスケルトン方式を採用し」というのは一時代前の話で、既存ストックこそ、古い躯体をスケルトンとして見なして改修すると言ったほうがスムーズ。既に(3)で「大規模改修や耐震化」とか(3)で「長寿命化」などの記述があるので、あえて「柔軟な建築手法」と謳わなくてもいいのではないかと。他の自治体の計画を見ると、「既存ストックを最大限活用し、公共施設の建替えは行わない」と宣言している自治体もある。川西市の場合は建替えを行っていくことを想定していると思うが、今の時代を考えると、「既存ストックの最大限の活用」というタイトルを設定し、必要なものについては部分的に更新していくというような表現を盛り込むのであれば、それを(2)として独立させてもいいと思うが。要するにスケルトン方式の建築手法については既に当たり前になってきており、新しい建物だけにスケルトン方式を採用するのではなく、既存ストックを活用しながら公共施設をマネジメントしていくといった姿勢をきっちりと(2)で謳ったほうがいいと感じた。</p>
委員長	<p>「スケルトン方式を採用するなど」という文言は削除したとしても、事務局としては「容易に機能の転換が図れるような建築手法を検討する」という記述は実務的には必要で、事業課向けにも残しておきたいのではないかと。</p>
C委員	<p>委員長のご指摘を踏まえると、一般的に大規模改修をやる時は耐震や屋上防水、外壁工事といった外見上の化粧直しを中心に行っている場合が多いが、本来的には10～20年後にほとんど費用をかけてなくても済むよう新しいニーズに変更できるような改修もセットでやっておくべき。基本方針3(2)の記述内容は新たに建替える建築物だけが対象になっているような印象を受ける。既存の建物についてもこれから30年～40年延命していく訳で、その時には利用ニーズも変わる可能性があるため、「ニーズが変わるときにきっちり改修をしておく」と将来あまり負担をかけずに用途変更ができる」という趣旨の文言を入れたいかと。スケルトン方式という言葉は使わなくてもいいと思う。</p>
委員長	<p>かなり重要なこと発言いただいたので、事務局で整理をお願いしたい。</p>
A委員	<p>少し前に戻るが、基本方針1(2)と2は市民意識調査結果の記述となっているが、基本方針と切り分けたほうがいいのではないかと。もし基本方針の中にミックスして記述するのであれば、重要度・満足度がともに低い領域(4象限の左下の領域)を「3(1)施設の総量縮減」のところに記述することも必要ではないかと。「市民意識調査結果の4象限を受けた公共施設の今後の方向性的話」と「主体の話、機能の話、</p>

<p>委員長</p>	<p>総量の話・・・」といった2つのことが並行して書かれているのが気になる。</p> <p>どっちに傾いているか。意識調査結果の象限の議論を基本方針であまり拘らないほうがいいのか、象限の議論を取り上げるなら徹底して書き、民間のノウハウの活用は特定の象限に限らないのだから、それも含めて書き直したほうがいいのか。</p>
<p>A委員</p>	<p>一番気になるのは(2)の「・・・民間ノウハウの活用を検討する。」という記述である。4象限の右下の領域だけが民間ノウハウの活用対象となる訳ではなく、他の象限にも当てはまる話なのにそれを限定してしまっていいのか。市民意識調査結果の記述が散りばめられているので、まとめて記述するののも一つかもしれない。</p>
<p>委員長</p>	<p>市民意識調査結果の部分をどこかでまとめて書いたほうが妥当な感じもする。ここは一旦事務局に受け止めてもらうとして、別の観点から他に意見はないか。</p>
<p>B委員</p>	<p>「2 公共施設の機能の最適化」のは、施設の複合化・多機能化が前提になっているように見える。場合によっては規模を小さくして建替えるほうがいいこともあり得るので、「目的別に施設を持つ考え方『のみ』に捉われず」という表現にしたらどうか。また、「選択と集中により最適な機能を組み合わせ」の文章が入ることによって分かりにくくなっている。「目的別に施設を持つといった考え方のみに捉われず、施設の複合化や多機能化等により利用者の利便性向上を図る」と素直に記述したほうが分かりやすいと思うので、「選択と集中により最適な機能を組み合わせ」は削除したらどうかと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>それはそうかもしれない。時々表現が冗長になっている。</p>
<p>B委員</p>	<p>そのまま建替えるのではなく、複合化などを図っていきたいということがの趣旨だが、間に他の文言が入ることによって何が言いたいかが分からなくなる。</p>
<p>委員長</p>	<p>そこは削除するとして、先ほどの市民意識調査結果の話に戻ると、4象限の記述の中で、どうしても重要な部分はそれだけを抜き出して、3のどこかに1項目か2項目程度でまとめて記述したほうがいいのかという意見と、特に1(2)の頭書きは抜いたほうがいいのかという意見だったと思うが、事務局で整理をお願いしたい。</p> <p>2ページは以上となる。3ページは(3)が重要で、それ以外は今までの議論を踏まえてどうかということ。それをした上で議事の(2)答申(案)に入り、大きな柱立てとストーリーの順番を確認したい。</p> <p>それでは、事務局に3ページの説明をお願いします。</p> <p>計画期間と計画推進に向けた考え方 (1)計画期間の考え方について (2)数値目標の検討について (4)全庁的な取組体制の構築等について</p>

事務局	<p>(5)フォローアップの実施方針について (事務局から一括説明)</p>
委員長	<p>(2)《数値目標の検討方法》の2つ目のポツだが、「上水道及び下水道については、公営企業会計による運営が行われていることを前提に…」の後に、「施設更新に一般会計からの財源投入が当面は必要でないと現時点で考えられることを前提に…」などの記述を加えないと、企業会計だから推計対象外だというのはおかしい。財源投入が必要ではないという前提が変わった時には、公営企業会計であっても推計の対象に入れないといけない。</p> <p>それと、3つ目のポツのところ、「投資的経費を大きく変動させる特殊要因があった場合には適宜補正を行う。」という記述について、今後補助率を高めて集中的に投資していこうとかいう時期が出てくる可能性がある。下の計算式は今後も補助率が変わらないことが前提となっているので、「今後補助率が高くなることで一般会計の負担が減った場合は、投資的経費の水準を見直す」というような文言を入れてほしい。それ以外で意見はないか。</p>
B委員	<p>計算式は、投資的経費の不足額をカバーするために延べ床面積を減らすという論理になっているが、不足額をカバーする方法は他にもありそう。例えば、PFIを導入するとか。確かに延床面積の削減が一番大きいけど、不足額が生じたからすぐに延べ床面積の削減につなげるのではなく、他に考えられる手法の記述が冒頭に必要だと思う。延床面積が主眼なのは間違いないが、一般的には分かりにくい。他にも減らせる方法があるのではないかと。例えば、建物の設計をもっと簡素化すると延床面積はそのままでも安価で建設できたりとか。</p>
事務局	<p>確かに、数値目標で床面積を減らすところに目が向くところであるが、2ページの基本方針の中では、PPP・PFIの導入を記述することで市民サービスの向上を図るとともにコスト縮減も狙っている。そのことが数値目標の中に反映できていない状況だが、そのようなことでコスト削減は図ろうとしている。</p>
B委員	<p>落とすところは延床面積削減でいいと思うけど、延床の削減の前に例えばPFIなんかも更新費用を削減できるのではないかとという疑問が浮かぶような文章になっている。何か上手に持っていく方法がないかと思って読んでいたのだが。</p>
委員長	<p>ご指摘のように延床面積の削減だけで達成するように読めてしまうけど、意図はそうではない。延床面積についてこういう数値を設定するけど、それ以外のこともいっぱいやると言っている。ここだけを読むと、延床面積の削減だけで達成できると読めてしまうので、文章の上の方に「財政的に可能にしていくために色々やらないといけないが、特に延床面積については次のような数値目標を設定します」ということを前文に書き加えて、この手法だけで達成しようとしている訳ではないということの後ろに付け加えたらどうか。</p>
B委員	<p>前だけでもいけるかもしれない。</p>

	<p>確かに、圧倒的にコスト削減が図れるのは延床面積。それがわかる一文を前に入れておけばいいと思う。</p>
委員長	<p>それでは(3)に移りたい。ここは事務局に読み上げをお願いしたい。</p>
	<p>計画期間と計画推進に向けた考え方 (3)市民等の参画による議論のプロセスについて</p>
事務局	<p>(「(3)市民等の参画による議論のプロセスについて」の記述を音読)</p>
委員長	<p>の「公共施設の情報公開し…」という記述について、そもそもどういった「情報」なのか読み取れないため、「 などの公共施設の情報公開し…」というように書いてもらわないと分からない。</p>
	<p>の「対象施設の抽出」という記述についても、具体的にどのような施設を抽出するのが非常に分かりづらい。</p>
	<p>の「公共施設の活用方策等の検討」という記述は、意図していることがよく分からない、「検討する」ということをわざわざ書く意味があるのかどうか。</p>
	<p>～ までであるが、5項目もいらぬ気がする。そのことによって意味が分かりづらくなる。</p>
事務局	<p>一つ一つ段階を踏んで書いたつもりだった。字数は多いが と を引っ付けたほうがいいのかもしい。</p>
委員長	<p>そこは引っ付けたほうがいい。ちなみに の情報とはどういう情報か。耐用年数とかなのか。</p>
事務局	<p>建築年度とか建物にコストがどれくらいかかっているか、利用者がどれくらいかなどの情報を公開し、市民と共有したいと考えている。</p>
委員長	<p>公共施設白書をつくるイメージか。</p>
事務局	<p>施設情報のデータベースをイメージしている。</p>
委員長	<p>そういうことであれば、かなり書かないと意味が通らない。施設の管理状況とか利用状況、それから財政情報を公開するのは大きな話で重要なこと。どこまで書くかという問題はあるが、そこは書き加えてほしい。あと、 の「抽出」とは何を抽出するのか。</p>
事務局	<p>施設情報を共有することで、今後色々とあり方を考えていかないといけない公共施設を指定するという意味で書いている。</p>
委員長	<p>それは読めない。要するに、更新するに当たって検討課題にしないといけない施設が常に点検プロセスの中で浮き上がってくるようにする意味で、とても重要なこ</p>

	<p>とだと思うが読み取れない。「検討すべき施設が明らかになるように工夫する」というような表現を追記するとか意味が通じるようにしないといけない。</p> <p>他に意見はないか。</p>
B 委員	<p>論理的な筋立てがされているように見えるが、現実はまだちょっと複雑なものだと思う。 と はセットだと思う。市民からするとデータベースを見ても何を意味しているのかが分からない。だから行政に説明を求めて出前講座や説明会の依頼がくる。そういったことを繰り返しながら情報の共有がされていくと思う。出前講座や説明会は何も の時点に限らず、むしろ公共施設の情報を共有する時に非常に重要になると思うので、 のところに の内容を加えるほうが現実的だと感じる。プロセスとしては非常に整理されているが、実際はもっと複雑で行ったり来たりを繰り返すものだと思うので、細かく分けられないほうがいいかもしれない。</p>
委員長	<p>事務局には 、 でまとめて書き直してほしい。</p>
A 委員	<p>先ほどから、書いてしまったらやらないといけないという話があるが、是非情報をしっかり伝えていくことは記述してほしい。</p>
B 委員	<p>行政が最初の段階で汗をかいて、市民のところに行って説明をしていると、市民も一緒に考えないといけないという気になる。そのほうが後から楽になる。</p>
委員長	<p>今日は資料1について色々意見が出たが、事務局で書き直してもらって、資料2の答申に落とし込むに当たり、次回までに各委員の意見を聞いてもらいたい。</p> <p>それでは議題(2)の説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>2 議事</p> <p>(2) 答申(案)について</p> <p>(資料2に基づき説明)</p>
委員長	<p>答申と資料集、答申と報告書を分けるという体裁を今回は取らず、報告書を兼ねた答申にするという話。なぜこの組立にするかと言えば、基本方針を示す前には現状や課題などの情報が必要だからという事務局の説明だと思う。報告書をもって答申に代えるといった感じかもしれない。この形で答申するなら目次などの組立がどうかという点と、この内容で言い尽くせているかという点。ちなみに今日の議論で課題なんかの順番を変えるという話があったが、目次の順番に影響するのか。</p>
事務局	<p>目次には影響がなく、中の記述の変更で対応できる。</p>
委員長	<p>答申の構成はこれでいいかということだが、これまで検討してきたことが入っていると思うが、前回の小学校と中学校のあり方の意見交換の内容は、あえて別の扱いをしたいと事前に事務局から聞いている。その点の説明をお願いしたい。</p>

事務局	<p>前回、小中学校のあり方についてフリートークしていただいたが、結論を出す前提ではなかったので、基本方針などに落とし込みをしていない状況である。ただ、貴重なご意見をいただいているので、今後の計画をつくっていく中で、学校という一括りでみるシーンもあれば、小中学校を分けて考えていくというヒントも頂戴しているので、是非どこかに落とし込んでいきたい。提案であるが、資料2の1ページの「1 はじめに」のところ委員会してメッセージを載せていく中で、「小中学校のあり方を学校施設一括りで検討していくのでなく、地域の関わりも異なるので分けて検討していく側面も必要ではないか」などと記述するのはどうか。</p>
委員長	<p>何で答申本文に入れなかが分からない。委員会への諮問事項ではないからか。「1 はじめに」に入れたほうがいいのか。</p>
事務局	<p>前はフリートークという形式だったので、委員会として合意形成されたものかどうかという点で、「はじめに」へ落とし込みができればという思いである。本文のどこかにそれを入れこむのも調整できる範囲なので、どちらでも構わない。</p>
委員長	<p>「はじめに」に入れると特出しになって分かりやすいという考えと、「はじめに」は本文でないから中心でなく、どこか本文に入れといたほうが、特に後半の4節に入れといたほうが実効性あるという考え方とどっちがいいか。</p> <p>これまでの議論では、小学校は地域の核施設なので建物そのものが物理的になくなるのは考えにくい。地域共同体を象徴するような物として活用することが前提となる。中学校は、純粋教育施設としてのあり方の検討を極めたほうが合っているという議論だった。「はじめに」に入れるか、後ろ4節の文章に入れるか、あるいは「なお書き」で小学校と中学校の性格の違いを記述するか。</p>
A委員	<p>本文に入れたほうが良いと思う。基本方針のところ、市民意識調査結果の内容を施設総量の適正化のところ、書いてらどうかと言ったが、満足度、利用度、重要度と並列かもしれないし、学校と一言で言っても、区別なしにひとまとめにして扱うのではなく、それぞれの特性に応じて…という形で書き込めると思う。「3(1)施設の総量の適正化」のところ、小学校はコミュニティの核としての位置づけもあるので…というような形で書けないかなと。</p>
C委員	<p>子供の数が減っていく前提でどうするかという議論だが、私が着目した事例は、京都市内の都心部で小学校の統廃合を進めた後に子供が増え、キャパシティに収めきれない状況となり、5年生と6年生は最近統廃合された新設の中学校に通っている。要するに、小学生を増築するとしてもまた人数が減っていくかもしれない。小学校はダウンサイジングをしていけばいいが、複数の小学校が集まってできる中学校に余分のキャパシティを持たせておいて、多くなると小学生を受け入れたりとか、空いている時には地域ニーズに活用したりとかのやり方をしたほうが、小学校をたくさん整備するよりも、中学校に投資をしたほうがマネジメント全体が上手くいくのではないかとこのところがある。小学校は適宜ダウンサイジングし、中学校は他の施設のニーズや小学生が一時期増えることにも対応できるように、中学校に多</p>

	<p>くのキャパシティを持たしたほうが効率がいい。そこまで書ききらなくてもいいが、小中学校を包括的に捉えずに圧倒的に数が少ない中学校で調整していくという考え方を謳えばどうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>2人は本文に入れたほうがいいということ。</p>
<p>B委員</p>	<p>事務局からすると小学校は残さないといけないけど、中学校は統合があるのではないかとの話だと思う。前回の委員会の議論の中では、小学校と中学校ではコミュニティの強さが違うという点は合意されたと思う。でも中学校をどうするのかという踏み込んだところまで議論はしていないし、今話を聞いていても学校については色々な見方があると思った。基本方針に書き込むとしても、小学校と中学校の違いというものを前提にしながら、それぞれのあり方を検討していくことが重要であるぐらいの書きぶりになると思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>書く場合はそこまでで、中学校の場合は、特に住民の思い入れが強い小学校とは分けて考えていくというような書きぶりだと思う。</p> <p>(3) その他 <次回委員会の日程について> ・第6回委員会 1月26日(火)午後5時から(庁議室)</p> <p>3 閉会</p>